

こっこめ通信 02 2015

「君こそスターだ！」号



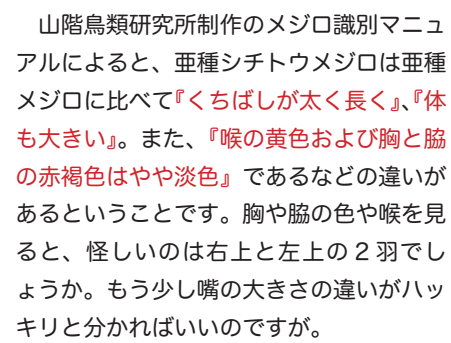
八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

昨年（2014年）のこっこめ通信 2月号はクロアシアホウドリのうれしいニュース、3月号は悲しいニュースを紹介しました。現在の状況は、5羽の若いクロアシアホウドリが八丈小島に上陸しています。このまま何事もなく、秋になって、上陸する鳥の数が増えてくれることを願っています。彼らは八丈島の期待の星なのですから。

さて、今回は「くにめんじょ」と「しまめんじょ」「八丈島のスターたち」についてのお話です。

“くにめんじょ”と“しまめんじょ”

八丈島の島言葉ではメジロのことを“めんじょ”または“めんじょめ”と呼びます。冬の時期、留鳥として一年を通して見られる亜種シチトウメジロ以外に、本州から越冬のために渡ってくる亜種メジロもいると言われ、その本土のメジロは“くにめんじょ”と呼んでいます。植物公園の中でもたくさんの“めんじょめ”がヤブツバキの花や小さな虫を探して木々を飛び回っています。“くにめんじょ”“しまめんじょ”いったいどっちの“めんじょめ”でしょうか？ 撮影して見比べてみましたが、見れば見るほど分かりません。いかがでしょうか？



山階鳥類研究所制作のメジロ識別マニュアルによると、亜種シチトウメジロは亜種メジロに比べて『くちばしが太く長く』、『体も大きい』。また、『喉の黄色および胸と脇の赤褐色はやや淡色』であるなどの違いがあるということです。胸や脇の色や喉を見ると、怪しいのは右上と左上の2羽でしょうか。もう少し嘴の大きさの違いがハッキリと分ければいいのですが。

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈島のスターたち

日本動物大百科（平凡社）によると、日本には280種以上のヒトデの仲間がいるそうです。では、八丈島にはいったいどれくらいのヒトデの仲間がいるのでしょうか？調べてみましたが資料が見つからなかったもので、今まで撮影したヒトデの仲間をピックアップしてみました。写真の同定は図鑑やインターネットなどを使用していますが、誤同定があるかもしれません。写真の後ろの色づけは右の分類の目^{もく}に合わせてあります。

八丈島の場合、黒潮の流路によって水温などの環境が大きく変わり、海の中の生物も変わります。下で紹介している種の中では、カワリイトマキヒトデ、ジュズベリヒトデ、オオアカヒトデ、フトトゲヒトデ、ヤツデヒトデなどの観察例が多く、それ以外の種は水温によって見られたり見られなくなったりします。これだけのはずはないので、これからも八丈島のスターを探し続け、ホームページなどで紹介していきたいと思います。

ヒトデ綱	モミジガイ目	スナヒトデ科
		モミジガイ科
		ザラヒトデ科
		マンブクヒトデ科
		スナイトマキヒトデ科
	イバラヒトデ目	イバラヒトデ科
	アカヒトデ目	ケムシヒトデ科
		イトマキヒトデ科
		カスリモミジガイ科
		ゴカクヒトデ科
コブヒトデ科		
ノコギリヒトデ科		
オニヒトデ科		
フトトグヒトデ科		
ホウキボシ科		
ニチリンヒトデ目	オトトグヒトデ科	
	ナンカイヒトデ科	
	ニチリンヒトデ科	
	マクヒトデ科	
ルソンヒトデ目	ルソンヒトデ科	
マヒトデ目	ホシガタヒトデ科	
	マヒトデ科	
	ユルヒトデ科	
	シャキョクヒトデ科	
	タコヒトデ科	
シャリンヒトデ目	シャリンヒトデ科	
	ムツウデシャリンヒトデ科	

ヒトデの分類 日本動物大百科7（無脊椎動物）より



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。2015年1回目の調査は1月11日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成27年第1回）参加者：沖山、矢野、菊池昭、金田、相馬、茂手木、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			木本		
1	アオノクマタケラン	実	1	イヌビワ	実
2	アツバスマシ	花	2	オオバヤシャブシ	実
3	イヌホオズキ	花と実	3	オオムラサキシキブ	実
4	イワニガナ	花	4	ガクアジサイ	実
5	ウスベニニガナ	花	5	サカキカズラ	実
6	ウラジロチチコグサ	花	6	タイミンタチバナ	花
7	オオアレチノギク	花	7	ツルグミ	花
8	オオシマカンズゲ	蕾	8	テイカカズラ	実
9	オオバコ	実	9	トベラ	裂けた実
10	オニタビラコ	花と実	10	ハゼノキ	紅葉が残る
11	オランダミミナグサ	蕾	11	ハチジョウキブシ	花芽
12	カタバミ	花と実	12	ヒサカキ	蕾
13	コシロノセンダングサ	花と実	13	ホウライカズラ	熟した実
14	コナスビ	花	14	ホルトノキ	実が残る
15	サルトリイバラ	実	15	ヤツデ	実
16	シチトウスミレ	花	16	ヤブツバキ	花
17	タケダグサ	花			
18	タチスズメノヒエ	実	シダ植物		
19	タネツケバナ	花と実	1	オオイタチシダ	
20	チヂミザサ	実	2	オオタニワタリ	
21	ツルソバ	花と実	3	オニヤブソテツ	
22	ツワブキ	実	4	タチクラマゴケ	紅葉
23	ナキリスゲ	実	5	タチシノブ	
24	ノゲシ	花	6	タマシダ	
25	ハキダメギク	花	7	ナチシケシダ	
26	ハチジョウアザミ	花と実	8	ノキシノブ	
27	ハナイバナ	花	9	ハチジョウカナワラビ	
28	ハハコグサ	花	10	ハチジョウシダ	
29	フウトウカズラ	実	11	ハチジョウベニシダ	
30	ヘクソカズラ	実	12	ヒトツバ	
31	ベニバナボロギク	花	13	ホシダ	
32	ヘビイチゴ	花	14	ホラシノブ	
33	ムラサキカタバミ	花	15	マツバラシ	
今回はシダ植物 18 種を含む 67 種の植物を観察しました。数は少ないながら早くも春の植物が見られました。			16	マメツタ	
			17	ミゾシダ	
			18	ヤマイタチシダ	

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、海の危険な生きもの「オニヒトデ」にスポットを当ててみたいと思います。



オニヒトデ *Acanthaster planci*

オニヒトデ科のヒトデ。インド洋・太平洋の熱帯・亜熱帯に分布。体表に鋭いトゲがあり、刺されると蛋白毒を分泌します。サンゴを食べることで有名で、大量発生時には駆除している地域もあります。島では、黒潮が当たり、高水温が続くと見られるようになります。過去には2cm～30cm程のものまで確認されています。

2015 八丈ビジターセンター 2 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク 05:16 10:35 15:58 22:53	2 05:46 11:12 16:41 23:28	3 06:14 11:44 17:18	○ 立春 4 06:40 00:00 17:53 12:13	5 07:05 00:29 18:26 12:42	6 07:29 00:58 19:00 13:11	7 ガイドウォーク 07:53 01:26 19:33 13:42
8 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 08:18 01:53 20:08 14:15	9 08:43 02:21 20:48 14:52	10 09:11 02:50 21:35 15:35	11 ガイドウォーク 09:43 03:22 22:41 16:29	● 12 04:02 10:24 17:42	13 00:24 05:05 11:24 19:10	14 ガイドウォーク 02:27 06:58 12:50 20:29
15 ガイドウォーク 03:44 08:48 14:15 21:31	16 04:34 09:55 15:22 22:22	17 05:15 10:45 16:19 23:09	18 05:52 11:29 17:11 23:52	● 雨水 19 06:28 12:10 18:00	20 07:02 00:33 18:48 12:51	21 ガイドウォーク 07:35 01:13 19:35 13:33
22 ガイドウォーク 08:08 01:51 20:22 14:16	23 08:39 02:27 21:12 15:01	24 09:11 03:01 22:10 15:52	25 09:46 03:36 23:31 16:53	● 26 04:17 10:31 18:13	27 01:44 05:43 11:45 19:45	28 ガイドウォーク 八丈学講座 「春探し水辺ウォーク」 講演会「八丈島の外来生物」 03:35 08:25 13:32 21:00

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
2/8（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八丈学講座 「春探し水辺ウォーク」

毎月行っている八丈学講座。和泉親水公園やホテル水路で芽吹き始めた植物などの春を探します。
2/28（13:30～ 約1時間半）
中学生以上 鴨川ホテル水路集合・解散 参加費：50円 定員：15名

講演会 「八丈島の外来生物」

神奈川県立生命の星・地球博物館元学芸部長の高桑正敏氏を講師にお招きし、お話をして頂きます。
2/28（19:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンターレクチャールームにて 無料 定員：55名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2015.2.1 第165号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

公園の中のメジロは、大きな群れになっているグループと数羽で行動しているグループがあります。数羽のグループが“くにめんじょ”ではないかと思っています。1月下旬になってからは、大きなグループのメジロは、求愛行動も始めていました。（高）